

平成28年度 第6回教育研究評議会議事要録

日時 平成28年10月13日(木) 14:00～15:30
場所 事務局第1会議室
出席者 三村学長, 尾崎理事, 太田理事, 袖山理事, 米倉副学長, 佐川人文学部長, 生越教育学部長, 折山理学部長, 馬場工学部長, 久留主農学部長, 木村全学教育機構長, 高橋図書館長, 田中評議員, 蓮井評議員, 荒川評議員, 小野寺評議員, 田内評議員, 増澤評議員, 伊藤評議員, 中石評議員, 後藤評議員

欠席者 影山理事, 吉田評議員

陪席者 増子監事, 中庭監事, 泉岡副学長, 栗原学長特別補佐, 横木学長特別補佐, 鈴木学長特別補佐, 内田学長特別補佐, 森学長特別補佐, 原口学長特別補佐, 羽瀧学長特別補佐, 大塚執行部スタッフ, 総務部長, 財務部長, 学務部長, 学術企画部長, 総務課長, 大学戦略・IR室副室長, 国際戦略室副室長, 財務課長, 学務課長, 監査室長, 各学部事務長

議 題

審議事項

- 1 工学部・理工学研究科(博士前期:工学系)の改革について
- 2 その他

報告事項

- 1 教員の人事について
- 2 平成29年度からの基盤教育について
- 3 大学教育再生加速プログラム(AP)キックオフイベントについて
- 4 “ライフデザイン”講演会について
- 5 学生の異動について
- 6 科研費監査結果について
- 7 平成28年度国立大学法人茨城大学学長学術表彰受賞記念講演会の開催について
- 8 コンプライアンス関連合同研修の開催日程等変更について
- 9 その他

議 事 概 要

I 審議事項

- 1 工学部・理工学研究科(博士前期:工学系)の改革について
学長から, 審議事項としているが, 工学部・理工学研究科の改革について説明の上議論の場としたい旨の提案があり, 馬場工学部長から資料1に基づき説明があった。

【主な意見】

- 文科省との意見交換後, 学部内ではどのような検討をされたのか。
- まだ十分に議論されていないが, 様々な方向を検討している。
- 他の研究科では社会人の受入について, どのように検討されているのか。

- 企業や行政等からは、1年間で修了できる制度やカリキュラムを要望されており、社会人のみではないが夜間や休日での開講を検討している。また、社会人の受入について、一定数を確保する観点から協定等を締結することも検討している。
- 新しい科目を担当する教員はどのようにするのか。
- 新規採用やクロスアポイントメント等を想定している。
- 本来であれば、学内のリソースを有効に活用することが望ましいが、現状では難しい。学部や研究科の枠を超えて、全学で協力できる体制を構築していく事が今後の課題である。
- 数理情報が重要なキーワードになっているが、本学としては、どのようなビジョンを持っているのか。
- 一つ目は全学教育のベースの中に、そのような基礎的な素養を持つような教育を行うことであり、二つ目は社会のニーズと工学部・理工学研究科の改革を検討している方向が合致したことによる、二つの方向で検討されており、それらの進展を見ながら更に議論をしていく。まずは、研究科においてどのような組織構成にするかなどを議論していただき、その後、全学的に検討していく。

2 その他

- ・折山理学部長から、平成28年度予算について質問があり、袖山理事から報告があった。

II 報告事項

1 教員の人事について

学長から、資料2に基づき報告があった。

2 平成29年度からの基盤教育について

木村副学長から、資料3に基づき報告があった。

3 学生の異動について

馬場工学部長から、口頭による報告があった。

4 平成28年度国立大学法人茨城大学学長学術表彰受賞記念講演会の開催について

尾崎理事から、資料7に基づき報告があった。

5 コンプライアンス関連合同研修の開催日程等変更について

尾崎理事から、資料8に基づき報告があった。

6 その他

- ・生越教育学部長から、日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会について報告があった。
- ・生越教育学部長から、全学教職センター・教育学部共催FD「今後の教員養成の動向について（仮）」の開催について報告があった。

III 監事からの意見

- ・社会人の入学者数の確保については、現実的には難しいと認識しているが、

世の中の技術革新が急速に進んでいる中、学び続けなければキャリアアップも出来ない、仕事すら失う時代が来ると言われている。本学の卒業生が大学に戻って学び直しができるような体制が用意されれば、本学が人材育成について長く支援していく大学になるのではないか。地元への就職率を高めることも本学の目標の一つであり、インターンシップや地元企業へ就職した場合には、大学へ戻って更にスキルアップ・キャリアアップができるような体制などの図が描ければ、学生にとっても学びの場として有効な場を大学が提供出来るのではないか。社会人の学び直しについても前向きに議論していただきたい。

IV その他

教育研究評議会会議資料の公開について

学長から、資料の公開について、以下のとおり確認があった。

非公開：無し 全て公開する。

次回 教育研究評議会開催

11月10日（木） 14時00分から